



創立九十周年を迎えて

PTA会長 中 嶋 日 吉

秋田県立能代高等学校が、創立九十周年を迎えられた事にPTAを代表し心よりお祝い申し上げます。これもひとえに歴代の校長先生を始め、教育に対して情熱を燃やし生徒の指導に当たって来られた多くの教職員の皆様の努力と同窓会や地域の皆様の協力、保護者の皆様の献身的なサポートの賜物と深く敬意を表します。

私は第51期生として昭和53年から高埵の現校舎に通学していました。汽車通学をしておりましたので、東能代駅から友人と語り合いながら歩いて通っていました。当時は、倫勝寺を過ぎると学校までは見渡す限り田園風景、冬になると吹雪で校舎が見えなくなる『幻の校舎』など今でも懐かしく思い出されます。平成に入り、校舎の周辺にはショッピングセンターや多くの住宅など様々な建物が次々と建ち、娘たちを学校に送るたびに、自分の年齢と時代の流れを感じております。

そして、世の中もこの十年で随分変わりました。国際社会では、アラブの春に始まる中東の混乱、イスラム国の脅威や中国の台頭と韓国との軋轢。国内では、東日本大震災や福島原発事故など、それまで想像できなかった出来事が起きて来ました。また、政治や経済は相変わらず混沌としており、日常生活では、スマートフォンの普及で情報社会が飛躍的に発達し生活様式を変えてきました。教育に関しても大きく変わろうとしております。ゆとり教育は見直され、大学入試改革では、大学入試センター試験に代わる『達成度テスト』の導入が論議さ

れており、進学校である本校にも大きな影響をもたらす事でしょう。

そんな中、本校に学ぶ生徒たちは時代の荒波に揉まれながらも、脈々と流れる良き伝統を受け継ぎ、本校の校是である文武両道を見事なまでに実践してきました。進路においては、多くの生徒が国公立大学や難関私立大学、公務員試験に合格しており、部活動においても近年、軟式野球部の全国大会優勝や吹奏楽部の東北大会金賞など、体育会系も文化会系もそれぞれ多くの部活動が活躍しております。この生徒たちは、先生方や仲間たちを信じ、自己目標の実現に向けた弛まぬ努力を積み重ね、永い歴史と伝統にさらに重みを加え、磨きを掛けて本校を輝かせ、次の世代へ継承してくれると確信しております。また、創立以来二万余名の生徒たちが、本校を卒業し各方面で活躍されております。これから十年、二十年と前途有為な若者が本校から巣立ち、大きく羽ばたいて先輩方に追いつき追い越し、そして本校の新たな歴史の一ページになるよう期待しております。

しかし、一方では、本校を取り巻く状況に不安もあります。少子高齢化に伴う人口減もその一つです。百周年を迎える十年後の新入生となる能代市山本郡内六歳児の人口は現在481人、高校の数では二校分程度です。本年3月の本校入学試験での定員割れは残念でしたが、来年以降も気を抜けない状況に変わりはないでしょう。県内各地で高校再編計画がありますが、本校は県下有数の基幹校です。伝統に裏付された重みと存在感を遺憾なく発揮し、今まで以上に魅力ある高校となり、多くの子供たちが本校を目指して入学し、時代を担う松陵健児が、これまで同様多数輩出する事を願ってやみません。

最後になりましたが、創立九十周年を迎えるに当たり、関係各位に深く感謝申し上げます、本校の益々の発展と生徒諸君の飛躍を心より祈念し、お祝いの言葉とします。